

# 報 告 書

開催日時	平成 26 年 5 月 12 日 (月) 19 時 00 分 ～ 19 時 50 分	
開催場所	長部漁村センター	
出席議員	挨拶 佐藤信一	
	司会進行	菅野広紀
	報告者	佐藤信一
	記録者	菅野 定、伊勢 純
	議員	伊藤明彦 (欠席：佐々木一義)
参加人数	23 名	事務局 1 名
主な要望 ・提言等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害対策は、どのようになっているのか。 気仙町丑沢地区では、昨年の台風で山からの出水により住宅地が寸断された。今後、高台移転の団地からの排水や出水が心配される。対策をとってほしい。</li> <li>・河川沿いのガードレールが津波で壊れてしまっている。長部川の 100mほどの区間にガードレールを設置してほしい。(この件は、既に区長が市へ要望書を提出しているとのこと。)</li> <li>・田の浜地区の上水道工事に関連し、歩行者が本来歩道ではないところを歩いているので対策をとってほしい。</li> <li>・後世に伝えるため、津波の到達点に看板などの表示をしてほしい。</li> <li>・長部の南部に下水道整備の計画があるのか。</li> <li>・川口地区の信号のない交差点で大型の工事車両の走行が多いために、市民の車が右折できないでいる。工事車両に譲っていただくよう、市から業者に要請してほしい。</li> <li>・走行中の大型ダンプの荷台から石が落ちてくる。危険なので、市から業者に対処するよう要請してほしい。</li> <li>・国道 45 号線から広田湾漁協気仙支所付近へ下る道路が使えなくなるというが、今後も使えるようにしてほしい。</li> <li>・今後の復興予算は、どのように推移するのか。</li> <li>・復興状況が遅いのではないか。</li> <li>・長部地区の全部の自主防災組織が避難訓練に取り組み、512 名が参加した。被災の体験が風化しないように研修会等を継続していきたい。</li> <li>・災害情報の周知は、市民にどのように徹底させるのか。</li> </ul>	

所 感	<p>○伊勢 純</p> <p>災害対策や車両や歩行の安全対策を求める意見が多かった。震災後に設置されていないガードレール等の問題は、地域にとって危険で大きな課題であると強く感じた。また、コミセンを中心として区長さんとの連携をはかり、気仙町長部地区のまちの復旧について、積極的に取り組みを進めている様子が印象的だった。このような自主的なまちづくりの取り組みに対して、積極的に支援を展開できるような仕組みづくりが求められていると思った。</p> <p>○菅野 定</p> <p>長部地区は自主防災会があり、3月に津波や洪水対策に向けて、512名が参加しての避難訓練と役員の参加による防災研修会を行ったと聞いた。また、常日頃、地区に問題が発生した場合にコミュニティから役所に要望書を出しているらしく、今回の報告会の発言内容についても、建設課や農林課に提出されたものが多かったという。とても対応が早い地区だなと感じた。</p> <p>ガードレールの問題やダンプの落石の問題や右折左折の走行に関する問題等危険が身近だと感じる事例が多く、早めに対応し、事故が起こらないようにしなければいけない。</p> <p>○菅野 広紀</p> <p>現在の財政状況から将来財政見通しについての質問有り、市税減収の中、市民は復興インフラ整備後の町の姿を見いだせないでいる感じがした。会議の進め方、持ち方については、コミセン役員や区長が多く参加したので地域課題についても意見交換出来た。</p> <p>○伊藤 明彦</p> <p>長部コミセンでは独自のコミュニティだよりを発行し、長部地区の復興工事の進捗状況を知らせていた。また、他地域に先駆けて防災訓練も行っている。今回の津波の到達点がわかるように、目印になるようなものを設置してほしいとの要望もあった。</p> <p>○佐藤 信一</p> <p>議会報告会に向け、コミセンが区長さん方にも出席を呼び掛けてくれ、参加者が多かった。津波到達地点に標識を立ててほしいといった防災について意見が多く出された。また、公共下水道の地域拡大や、国道からの市道取り付けなど、ライフラインの整備についての意見も出され、活発な懇談がなされた。</p>
-----	---

議会広聴広報特別委員会

広聴小委員会小委員長 松田 信之 殿

平成26年6月6日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成26年度議会報告会産業建設班

班 長 佐 藤 信 一 ㊟